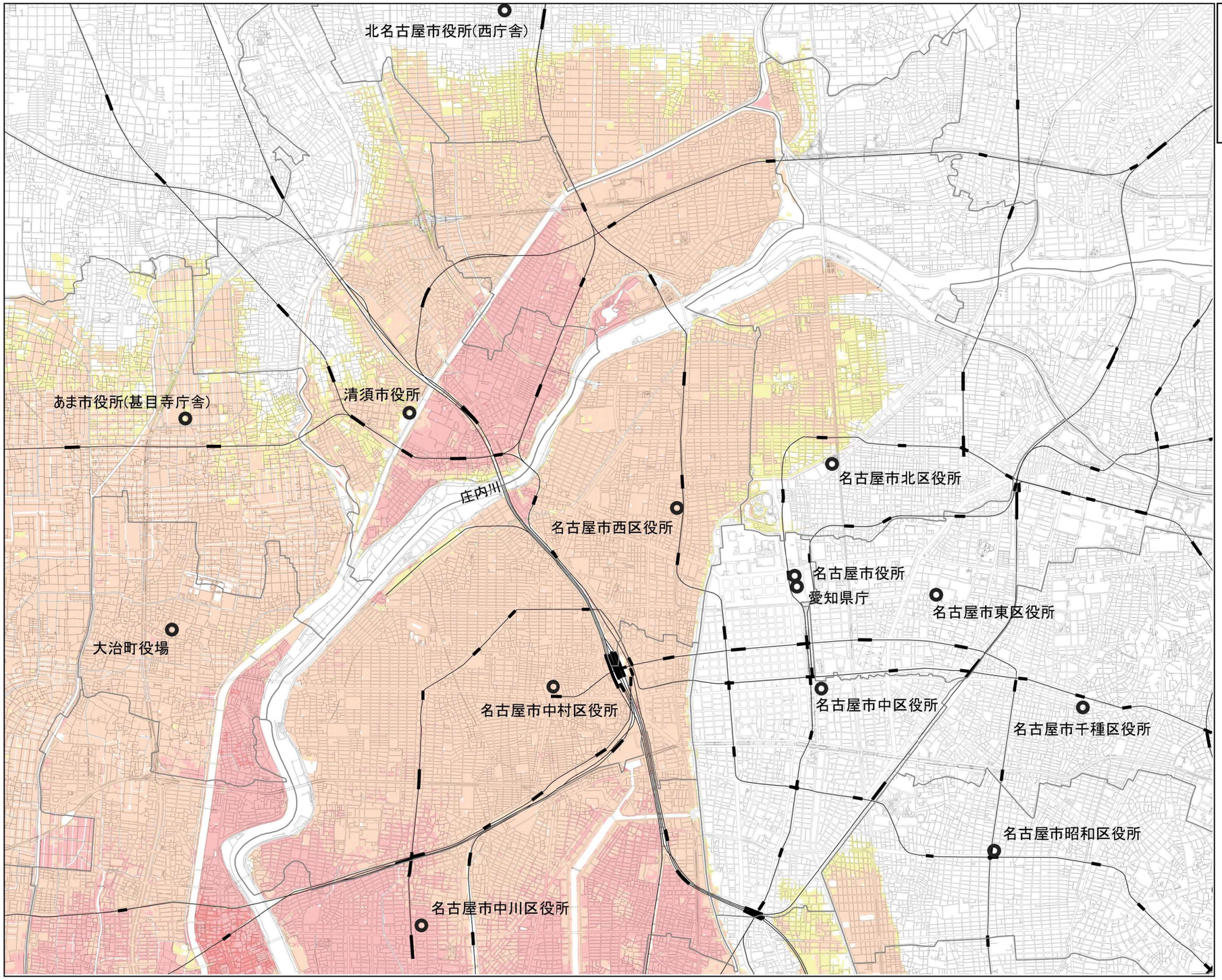
高潮浸水想定区域図

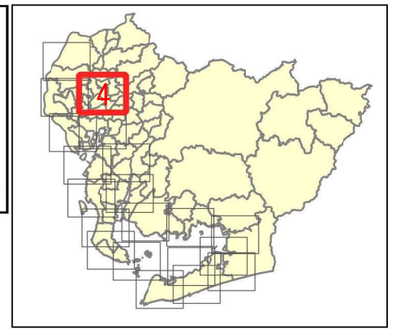
この図郭に含まれる市区町村：千種区、東区、北区、西区、中村区、中区、昭和区、瑞穂区、熱田区、中川区、港区、守山区、春日井市、稲沢市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大治町

図面番号：04 / 20　1：50,000



最大浸水深(m)

- 5m ～ 10m
- 3m ～ 5m
- 0.5m ～ 3m
- ～ 0.5m



0　0.5　1　1.5　2 km

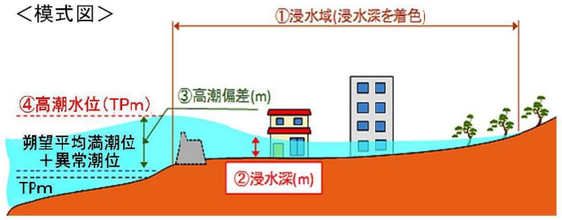
【留意事項】

○高潮浸水想定区域図は、水防法（昭和24年法律第193号）第14条の３に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）、浸水した場合に想定される浸水の深さ（浸水深）を図面で表示したものです。
○高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、日本に上陸した既往最大台風である室戸台風規模の気圧を有する台風が、三河湾・伊勢湾沿岸に大きな影響を与える経路を複数設定し、堤防・水門等は設計条件に達した段階で決壊するものとして、高潮浸水シミュレーションを実施しています。
○この複数の高潮浸水シミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深を抽出し示しています。
○高潮浸水区域図は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合もあります。
○道路のアンダーパス等、周辺の土地より極端に低い箇所では、局所的に浸水深が深くなります。
○台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、国直轄河川及び県管理河川の内、基本高水のピーク流量が1,000m3/s以上の河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
○その他の河川については、河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
○高潮浸水想定区域図では、高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない内水出水（内水氾濫）が発生すること等、浸水想定区域図以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
○現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から条件を組み合わせて設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。
○確実な避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、各市町村が作成するハザードマップ等を活用してください。

【月語の解説】

浸水域：高潮や高波に伴う越波・越流によって浸水が想定される区域
浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ

＜模式図＞



［台風規模］

室戸台風級
・中心気圧910hPa
・半径75km
・速度73km/h

［計算条件］

朔望平均満潮位
水門は操作規定に準じて閉鎖し、設計条件に達した時点で堤防とともに決壊する

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用したものである。（承認番号：測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 1214）

令和3年6月　愛知県